


農 Farmer Vol.10 の人の人

発行：東大和市農業委員会

〒207-8585 東京都東大和市中央 3-930

TEL: 042-563-2111 (代表)

東やまとの受け継がれる農家の知恵。
秋は農業に親しむ。
知識を深める！

ばくがかす
岩田園の麦芽粕再利用取り組み見学にみる
資源の循環について考える。地域でもSDGs！
東大和市立第三小学校3年生の社会科授業。
畑見学と昔ながらの道具 + 食育について。

「農の人」編集スタッフが直売所を
突撃取材 vol.3!

受け継がれる農家の知恵。☀️

農業に親しむ + 知識を深め

東大和市では「**都市型農業**」の取り組みとして食料自給の**地産地消**を掲げています。
それに合わせSDGsと呼ばれる取り組みにも参加しており、実際はどんなことをしているの
なかなか知ることもないと思います。どうして地元産がいいの？

SDGs ってどんなこと？など、その疑問に少しでも触れていきたいと思います。

01 作る人のお話し

岩田園 (芋窪) の**麦芽粕**再利用取り組み見学にみる 資源の循環について考える。地域でもSDGs！

東大和市内の岩田園では化学肥料と農薬をなるべく使わない農業を
目指すために、麦芽粕(ビールを作る時に出る麦芽の絞りかす)を
堆肥として活用しています。

●麦芽粕を使用するメリット

- ① 麦芽粕の堆肥を使用していると農作物に虫が寄ってこない。
- ② 通常だと産業廃棄物になる麦芽粕が、堆肥として活用される。
- ③ 野菜の生育が良い。

このように環境に優しいことから、地方から取り組みを見学に
来られています。身近でも、努力の中から試行錯誤し環境を考えた
持続可能な取り組みとして周知され、そのアイデアを持ち帰り
いろいろな場所で新たに実施されるということが明るい
未来【持続可能な】へと広がっていくに違いありません。(西川)



SDGs Sustainable Development Goals

(エス・ディー・ジーズ)とは日本語では
「**持続可能な開発目標**」と訳されます。
2030年までに**世界に住む人全員**で
より良い世界をつくっていきましょう。

貧困をなくそう
飢餓をゼロに
すべての人に健康と福祉を
質の高い教育をみんなに
ジェンダー平等を実現しよう
安全な水とトイレを世界中に
エネルギーをみんなにそしてクリーンに
働きがいも経済成長も
産業と技術革新の基盤をつくろう
人や国の不平等をなくそう
住み続けられるまちづくりを
つくる責任つかう責任
気候変動に具体的な対策を
海の豊かさを守ろう
陸の豊かさを守ろう
平和と公正をすべての人に
パートナーシップで目標を達成しよう



① 他県 (山梨) からの見学も受け入れている。

② 麦芽粕の実際。

③ 養液栽培 (トマト) の実際。

る!



東大和市立第三小学校 3 年生の社会科授業で、畑の道具 + 食育について子どもたちにお話をする五十嵐亜優さん。(右)

東大和市立第三小学校 3 年生の社会科授業。 畑見学と昔ながらの道具 + 食育について。



五十嵐^{あゆ}亜優さんは、市立第三小学校の3年生の子どもたちに社会科見学(農家見学)として、第三小学校に隣接する畑で栽培されている「やさい」(トマト、キュウリ、オクラやブロッコリー、キャベツの植え付け後の様子)を細かく説明していました。社会科見学は今回で3回目になるとのことです。

(10月31日)、「えびす講(一年の無事を感謝し、五穀^{ごこく}豊穰^{ほうじょう}を願う)」(11月20日)の話しを聞いて、子どもたちもびっくりです。地元の新鮮な野菜を食べる事で健康でいられることや作ってくれる農家さんの苦勞を知り、感謝の気持ちを学べたのではないかと思います。(和地)

- 見学後は教室に戻り農業と食育のお話がありました。畑で見た農具などは手作りのイラスト^{まじ}を交えて話しをしました。自宅に保存されていた昔の農具や道具等は武蔵村山市立歴史民俗資料館に寄贈したそうです。
- やさいの種類をイラストで季節ごとに紹介しました。キュウリ、キャベツ、白菜、ニンジンなどの栄養の説明や野菜は繊維が豊富で便(うんち)を外へ出す働きがあり、うんちがかたくなると石のようになって腸を傷つけて、炎症を起こして盲腸^{もうちよう}という病気の元になるので気をつけよう!という話がありました。

「畑の一年」という内容で、春夏秋冬におけるやさいの栽培と農家の伝統行事の「お釜さま(台所や火の神様)」

子どもたちからバラエティな質問が飛び出しましたので、いくつかご紹介いたします。

- なぜ、暑いのに野菜は育つのですか。
→雨がなくて厳しいので水をまいたり、日照りの時は黒いシートで日陰を作っています。
- 野菜が倒れそうなときはどうするのですか。
→支柱を立てて縄で補強します。
- いままで作るのに一番大変だった野菜は何ですか。
→ブロッコリーは世話が大変でした。
- なすを大きくする方法は何ですか。
→選定作業で枝を切ったり根本に肥料をやったり、水やりにも気を配ったりしています。
- 野菜が弱ったときはどうやって復活するのですか。
→お薬を与えて復活させます。
- 農業をやっている一番大変なことは何ですか。
→夏の暑さは大変です。でも体が丈夫になりました。

その他、多くの質問が上がりました。

子どもたちが地元の農業や野菜に関心を持っていることに、大変うれしく思いましたとのこと。

(五十嵐さんからの言葉)



農地にて、実際に使われている道具を確認する子どもたち。

東やまとの受け継がれる農家の知恵。☀️
秋は農業に親しむ + 知識を深める!

02 つなぐ人のお話し

地元のケーキ屋さんとして人気 (南街交番の近く) 「パティスリー ル シャトー」さん

店主でありパティシエの佐藤さんは、修行時代を経てご実家のある東大和市にお店をオープンし今年の9月に3周年を迎えられました。お店の商品に、東大和産の農産物が使われているものもあると聞き、以前からどんなお店なのか興味を持っていた編集委員が取材をお願いしました。

最初は「地元産」にこだわっているわけではなかったそうですが直売所を利用したり、SNSでのつながりから東大和や近隣の地域の食材が少しずつ増えたそうです。地元の物を使う事でどんな良いことがあるのか伺うと「運ぶ時間が短いので食べごろで状態の良いものが仕入れられお客さんにも喜んでいただけているように思います」との事。確かに食材がフレッシュだと美味しさもひとしおですし、地元のものだと安心感がありますね。

●商品のこだわりは「わかりやすい味」。

こだわりは、味をたくさん重ねずシンプルにすること。手書きの説明がそれぞれのケーキに添えてあるのが印象的でした。

また、1年を通して無理をして同じものを揃えるのではなくその時々旬の食材を使っているのが商品が季節によって変わるそうです。とても柔軟な対応や気遣いを感じる、季節ごとに訪れたい素敵なお店でした。

(西川 / 大羽 / 小林)



お店のイメージカラーは「オレンジ」。東大和の創業塾に参加した際デザイン講座でピンときた色だそう。実は当時の講師は我らが小林委員だったというご縁も判明。



▲ Instagramはこちら



焼き菓子やジャムにも地元産を使ったものがあります。

03 消費する人 (食べる人)

今回の農の人の取材で、地産地消やSDGsなどいろいろなことが伝わったことと思います。美味しく安全な野菜がいただけるのは、農家さん(つくる人)やつなぐ人(お店)の努力や試行錯誤によるものだと改めて気づきました。

このように農家さんからお聞きするお話や古くからの知識を知り深める事、またそれにつながるの消費をすることで、私たち消費者(食べる人)にも、地元への愛着がわき、よい循環がまわりはじめていくように感じました。

●「学び」を子どもたちに伝えてほしい

これからも自分たちでできることからひとつひとつ学んていくことが大切で、その「学び」を子どもたちに伝えていってほしいと思いました。それぞれのご家庭が東大和でとれた地元の旬の物をいただき、環境にやさしく健康的な生活が送れたら良いですね。

(西川 / 小林)



旬のくだものを使ったショートケーキ。(マスケット)



直売所で教わったレシピで作った春菊の胡麻和え。

体験

収穫体験いろいろ！

2022年6月25日(土) じゃがいも / 場所：奈良橋 4-671-1

2022年7月2日(土) 夏野菜(トウモロコシ、枝豆、じゃがいも) / 場所：立野 2-17-1

蔬菜園芸組合協力のもと市民向け収穫体験が行われました。

今年は梅雨明けが早く両日とも9時スタートの時点にはかなりの暑さになっていました。体調面なども心配でしたが、収穫を終えた方には「参加してよかった」「暑かったけれど楽しかった」との感想をいただきました。

また、毎回楽しみに参加している子どもたち、今年

やっと参加できた方もいて、農業に関心が高まっているのを感じました。収穫体験はイベントとしても楽しめま

すし自然にふれあうよい機会になると思います。市民向けの収穫体験は年3回市報にてお知らせしていますので、未体験の方はぜひ一度ご参加ください！

(西川)



背丈よりも高いトウモロコシにみんなかくれてしまう。

活動

9月に農地パトロールが行われました。

この活動は農地パトロールという名がつき、農業委員会で決められた目的(p8参照)もあるのですが、一年に一度同じ時期に市内を見て回る事でその変化に気づく事ができます。

それと同時にこの都市型農業ならではの、住宅地の中に点在する農地の姿が、癒される風景として変わらずにあってほしいと感じました。

また、農家さんから普段は聞けないためになるお話が聞けたり、野菜の葉を見て、その野菜の名前を知ったり、覚えたりと有意義な時間となりました。

(西川)



農地の様子を直接みてまわるのも、農業委員会の仕事です。





東やまとのとっても気になる 直売所マップ突撃取材 vol.3

東大和市のリニューアルした直売所マップを
「農の人」編集スタッフが突撃取材します！

「農の人」では「農産物直売所マップ」の
リニューアルを機に、各直売所を突撃取材！

東やまと野菜の魅力をたっぷりご紹介していきます。

【新鮮・安全・安心】な野菜であることはもちろん、
旬の野菜が手に入ったときの喜びは格別なものです！
生産者さんにおいしい食べ方などについて教わるなど、
直接コミュニケーションがとれるのも直売所の嬉しいところですよ！
是非お近くの直売所に足をお運び下さい。

▶「農産物直売所マップ」は市役所にてゲットできます。
※東大和市役所 産業振興課：042-563-2111(内線：1072)

07 しみずえん 清水園

中央



新青梅街道から少し中に入ったところの直売所。
お得意様が多く、ご夫婦でがんばっています。

直売所では新鮮な野菜が並ぶのをお客様が心待ちにしています。また、お客様とのコミュニケーションを大切に、特に野菜の食べ方や調理方法などは奥様が対応しています。ご主人は一年を通して、いろいろな種類の野菜を栽培しています。みなさんもお楽しみください。

〒207-0015 東京都東大和市中央 2-843

Tel. 042-562-0263

営業時間 / 不定期営業

開園シーズン / 通年

取扱種 / キュウリ、ブロッコリー、大根、なす、トマト、
ほうれんそう、季節の野菜

【コメント】減農薬にこだわった野菜を通年栽培し、お客様に喜ばれる野菜を作って販売することを心掛けています。



08 うちのえん | 立野

**手作りのログハウス風のおしゃれな直売所。
採りたての新鮮な野菜を多数取り揃えています。**

直売所の周りの畑で栽培された野菜を販売しています。「東京エコ50」の認証を受けて、環境にやさしい農産物を皆様にお届けしています。(東京エコ50：東京エコ農産物認証制度の区分の一つで、土づくりの技術や化学合成農薬と化学肥料削減の技術を導入し、都の慣行使用基準から化学合成農薬と化学肥料を削減して作られる農産物。化学合成農薬と化学肥料の削減割合が50%以上の認証)。

〒207-0021 東京都東大和市立野 2-1-8

Tel. 042-561-6578

営業時間 / 10:00-17:00

開園シーズン / 不定休

取扱種 / キュウリ、さといも、じゃがいも、大根、ほうれんそう、
季節の野菜



【コメント】

安全・安心で環境にやさしい野菜づくりを心掛けています。一年を通して、たくさんの種類の野菜をつくっていますのでみなさんも味わってみてください。

09 なかむらのうえん | 狭山

**こだわりの野菜が並ぶ直売所。
特に種類豊富なトマトはどれも絶品です！**

取材の日は数種類のトマトの他に苦みが少ない春菊や、紫の茎の水菜などが並び、栄養面や品種についてのお話が聞けました。トマトは養液栽培を取り入れており、おいしさはもちろん、安全・安心の面にも気使われています。入り組んだ場所にあるので、ぜひ直売所マップを見て訪れてみてください。

〒207-0003 東京都東大和市狭山 4-1468-1

Tel. 042-561-2348

営業時間 / 月水金 9:30 ~ 11:30

開園シーズン / 通年

取扱種 / トマト、ミニトマト、キュウリ、
レタス、ニンニク、季節の野菜



【コメント】 中村農園のほかに3軒の農家の農産物も販売しており、種類が豊富なのでお客様に喜んでいただいています。加工品(野菜の粉末など)も東大和産の野菜で作っています。

◎ 農地パトロールについて

農地法第30条の規定により、農業委員会は年1回その区域にある農地の利用状況について調査を行うこととなっています。そこで9月を農地管理推進月間として農地の利用状況の調査を行い、肥培管理不適切な農地について指導を行います。

農地を雑草が繁茂している状態、耕うんのみで作付けを行わない状況ですと近隣の農地や住民の方々のご迷惑となりますので、引き続き農地の適正管理をお願いいたします。

◎ 生産緑地地区の貸借に関する制度

生産緑地地区を貸借するにはある一定の要件を満たすことが必要となります。

- 特長
- ・貸借の期間が終了すると所有者に返還される。
 - ・相続税納税猶予の適用を受けている生産緑地の貸借が可能
 - ・貸借期間中に相続が発生したときに生産緑地の相続人は貸し付けたまま相続税納税猶予制度の適用を受けることができる。

◎ 農地法の届出について

下記に該当する場合は速やかに届出をお願いいたします。

- ・農地法第3条 農地を相続した場合
- ・農地法第4条 農地を所有者自ら農地以外の土地利用にする場合
(※権利移動が伴わない)
- ・農地法第5条 農地を農地以外の土地利用を目的に変更・売買等する場合
(※権利移動が伴う)

◎ 農業者年金に加入しましょう

農業者年金は積立方式の公的年金で、所得税や住民税の節税効果が大いなどの特徴があります。

- 加入条件
 - ・20歳～59歳
 - ・国民年金第1号被保険者
 - ・農業に年間60日以上従事

新鮮野菜を手に入れるなら！ 直売所へ Go!

ひがしやまと野菜 農産物共同直売所のご紹介



市役所ロビーアンテナショップ

東大和市中央 3-930 東大和市役所内
042-561-4383 営業日：毎週 木曜日
9:00～12:00 (休業期間：2/中～5/中)



東大和市農産物直売所

東大和市桜が丘 1-1330-19 ビックボックス前
042-561-4383 営業日：毎週 月・水・金曜日
14:30～ (通年、祝日も営業)
※品がなくなり次第終了になります。



みどりっ子仲原店 (東大和地区農産物直売所)

東大和市仲原 4-11-1
042-516-9577 営業日：毎週 月～金曜日
9:30～15:00 (土・日・祝日休業)

編集後記

- ▶我が家のギンモクセイが満開でよい香りがしています。平年は秋の彼岸に開花するのですが、今年は特に遅れたようです。これも気候変動の影響でしょうか。今年も台風が多く農家にとっては秋・冬野菜の栽培時期になりますが頭の痛いことです。「農の人」次号も東大和市の農業を発信していきます。ご期待ください。(W)
- ▶農の人も10号を発行することができました。相変わらずの突撃取材ですが、今回も皆さん快く受け入れてくださりありがたかったです。直売所でお話を聞いて販売している野菜をみなさんにもっと知って頂きたい、こだわりのある直売所のご紹介を続けています。そこから、東大和市農業の新鮮野菜で安全・安心な地産地消で持続可能な「都市型農業」への一助になればと願っています。(O)
- ▶直売所の特集も3回目になりました。市民の皆さまには是非利用して欲しいです。新鮮な野菜のおいしさを知り、実は苦手だった葉物野菜も好きになった私です。体の調子もいいたい?!取材にご協力いただいた皆さまありがとうございました。(N)
- ▶編集を始めた頃はまだ半袖で汗を拭き拭きの取材だったのに、今夜は寒くて毛布を膝に巻き巻き作業しています。皆様の手が届くのを楽しみに、もう少しの仕上げで完成です。楽しんで読んでいただけることを祈って。(K)

「農の人」配布場所について

「農の人」は、市内各公民館及び市民センター、JA東京みどり東大和支店、市役所産業振興課、市役所ホームページにございます。ご興味のある方は、市役所産業振興課までご連絡ください。



バックナンバーはこちらです▶

次号 農 Farmer Vol.11 の発行予定は 2023 年 3 月です。